フィールドゴルフ競技規則

この競技規則は、羽村市スポーツ推進委員協議会主催の大会等において適用する。

１　競技方法

フィールドゴルフは、「ボール」を「クラブ」で打ち、「ホールポスト」または「ゴールハット」に入れる打数を競う競技である。

２　用具【別図１参照】

１）クラブ（フィールドゴルフ専用クラブ）
２）ボール
３）スタートマット
４）ホールポスト
５）ゴールハット

３　コース

１）１ラウンドは１８ホールとし、コース内にはラインやロープ等で仕切った障害物を設置できる。
２）１つのホールの距離は１００メートル以内とする。

４　グループ（班）

１グループは４名以下でコースを回る。グループの中の１名をマナーリーダーとし、競技終了までグループ内のマナーを監視し、ペナルティー等の判定等を行う。

５　ペナルティーゾーン【別図２参照】

１）ペナルティーゾーンはラインやロープ、縁石等で明確に区切られている池やコース外のプレーができない場所をいう。
２）ペナルティー（アウト）とセーフの違いは、ボールの停止位置を真上から見て、次のとおり判断する。
　① ボールが完全にペナルティーゾーンの中にある場合のみ、ペナルティーとする。
　② ボールが少しでもペナルティーゾーンの外にかかっている場合は、セーフとする。
３）ペナルティーゾーンに打込んだ場合は、次の自分の打順になったら、ボールを、停止位置からホールポスト（またはゴールハット）に近付かないコース内に置く。（ボールは打たず、打数のみ数える。）

６　スタート

打順はじゃんけん等で決め、競技終了まで同じ打順でプレーする。プレーヤーは周囲に危険が無いことを確かめてからスタートマットにセットしたボールを打ち、グループ全員が第１打を終了してから第２打地点へ進むこと。

7　競技進行に関すること

1）ボールは明瞭に打つこと。ヘッドで押し出したり、かき出したりしないこと。

2）ホールポスト、ゴールハット、主催者が設置した障害物は動かすことができない。（触れることもできない。）

3）動かしてもよい障害物

簡単に動かせる物で、土に食い込んでいない小石や枯葉、小枝、虫、糞などは取り除いてもよい。取り除いた結果ボールが動いた場合は反則とせず、ボールは元の位置に戻す。

4）動かせない障害物

前記３）以外の簡単に動かせない物をいう。この障害物によりプレーができない場合は、自分の打順になったらマナーリーダーに申告し、ボールをホールポスト（またはゴールハット）に近付かないコース内に置く。（ボールは打たず、打数のみ数える。）

5）打球が自分や他の人に当たっても、反則とせずプレーを続行する。

6）打球が他のプレーヤーのボールに当たった場合

① 当てられたボールは元の位置に戻す。

② 当てたボールは停止した位置からプレーする。

7）穴に落ちたり、障害物等の中などで打つことができない場合は、マナーリーダーに申告し、ボールをホールポスト（またはゴールハット）に近付かないコース内に置くことができる。（ボールは打たず、打数のみ数える。）

8）自分のボールが他のプレーヤーの邪魔になる場合は、ホールポスト（またはゴールハット）に向かってボールの後ろにマークをしてからボールを拾い上げる。

8　反則

次の場合は反則とし、直後の打順ではボールは打たず、打数のみ数える。

1）ボールをマークしたり、ペナルティーゾーン等で打つことができずに置き直す以外にボールに触れた場合。

2）他のプレーヤーのボールを打った場合。（ボールは元の位置に戻す。）

3）ボールを見失った場合。（見失った地点（コース内）に新しいボールを置く。）

9　順位の決定

1）１８ホールの合計打数が少ない順とする。（少ない方を勝ちとする。）

なお、1位から3位を決定するにあたり、同打数の場合は、プレーオフを採用する。

2）スコアカードの提出は、マナーリーダーのカードをもって行う。

10　その他

疑義が生じた場合は、審判長が判断する。

令和5年4月8日改正（別図2のみ 平成21年4月9日改正）